

みんなで盛り上げる3空港一体運営
～関西経済浮揚のため、業界・地域は何をすべきか～

【観光推進の視点より】

公益財団法人 大阪観光局
Osaka Convention & Tourism Bureau



■大阪観光局・ミッション、基本コンセプト



OSAKA CONVENTION & TOURISM
BUREAU

大阪観光局の ミッション

(29年11月DMO法人登録)

大阪観光推進のプラットフォームとして、大阪への経済効果を最大化する

《数を増やす》

世界の中で大阪が目的地として選ばれる取り組みを行う

《質を上げる》

着地後消費最大化を目指し、大阪の戦略的な観光地域づくりを促進する

《波及させる》

観光産業をリードする存在として、大阪への経済効果を持続・波及させる

<重点方針>

- ★ビッグデータの活用やウェブマーケティングなどきめ細かなマーケットリサーチを行い、観光戦略（MICEを含む）を策定、**戦略的に事業展開**
- ★地域と連携して観光資源を磨き、ストーリー性を持たせ、**「大阪」をブランド化**
- ★スポンサー獲得や、ライセンスビジネスなど、**自主財源の強化**

DMO事業展開に当たっての3つのコンセプト

24時間観光都市
(Anytime)

関西・西日本
観光におけるハブ
(Anywhere)

多様性あふれる街
(Anybody)

■ 今後の大阪の大きな動き (2017年～2025年)



OSAKA CONVENTION & TOURISM
BUREAU

	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (平成31)	2020 (平成32)	2021 (平成33)	2022 (平成34)	2023 (平成35)	2024 (平成36)	2025 (平成37)	
大規模 イベント等				 						
I R (想定含む)		実施法成立 事業者公募	事業者認定		実施設計、建設など			施設オープン		
国際博覧会 (BIE)	誘致表明 閣議了解 立候補申請	BIE事前調査 BIE総会にて 開催地決定			開催準備				開催	
交通体系 (想定含む)		J R おおさか 東線開通	阪神高速 大和川線開通	北大阪急行 延伸開通						
うめきた 2期		開発着手	新名神 (高槻～ 神戸) 開通				地下化・新駅開業 順次まちびらき			
関空	関西3空港 一体運営 3空港年間利用者 2017年4661万人									
USJ				※大型投資						
中之島西部	大学誘致 MICE充実					新美術館 オープン				

新たな目標値について



安倍内閣3年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワーク拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

- ・ **訪日外国人旅行者数**は、**2倍増**の**約2000万人**に
(2012年) 836万人 ⇒ (2015年) 1974万人
- ・ **訪日外国人旅行消費額**は、**3倍増**の**約3.5兆円**に
1兆846億円 ⇒ 3兆4771億円

新たな目標への挑戦！

訪日外国人旅行者数

2020年： **4,000万人**
(2015年の約2倍)

2030年： **6,000万人**
(2015年の約3倍)

訪日外国人旅行消費額

2020年： **8兆円**
(2015年の2倍超)

2030年： **15兆円**
(2015年の4倍超)

地方部での外国人延べ宿泊者数

2020年： **7,000万人泊**
(2015年の3倍弱)

2030年： **1億3,000万人泊**
(2015年の5倍超)

外国人リピーター数

2020年： **2,400万人**
(2015年の約2倍)

2030年： **3,600万人**
(2015年の約3倍)

日本人国内旅行消費額

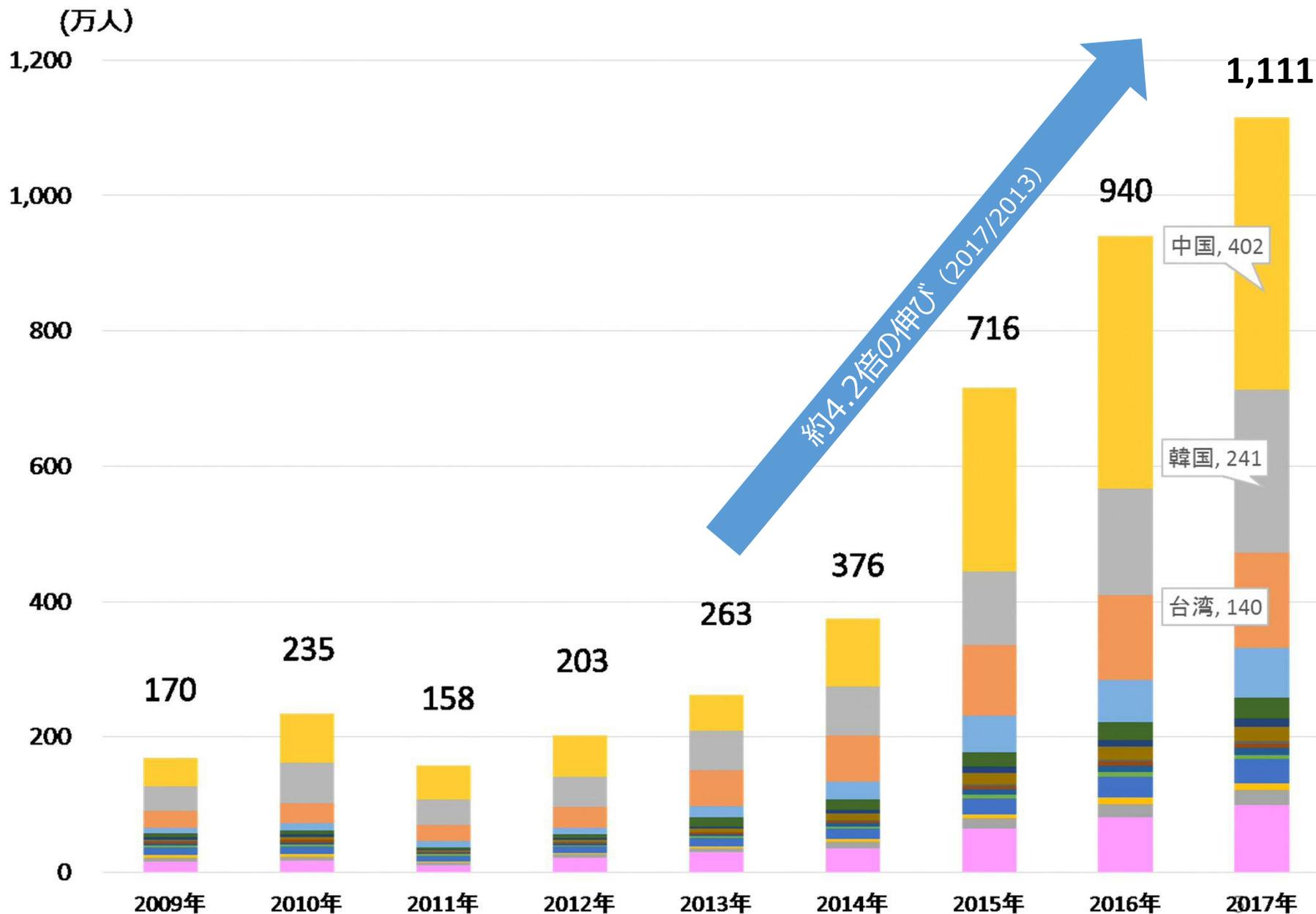
2020年： **21兆円**
(最近5年間の平均から約5%増)

2030年： **22兆円** 3
(最近5年間の平均から約10%増)

■ 来阪外国人観光客数の推移



OSAKA CONVENTION & TOURISM BUREAU

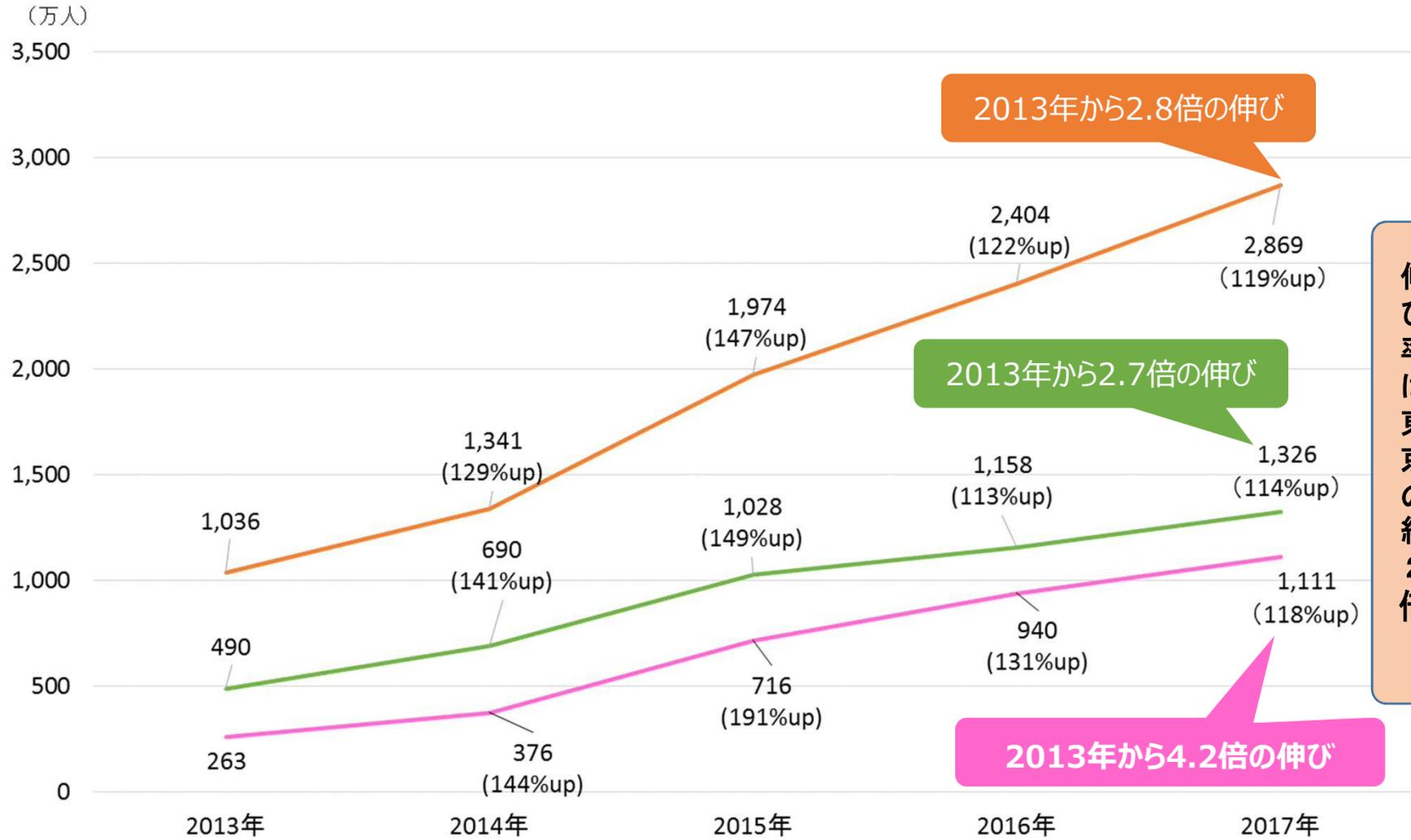


JNTO「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに推計。

■ 訪日外国人客数の推移



OSAKA CONVENTION & TOURISM BUREAU

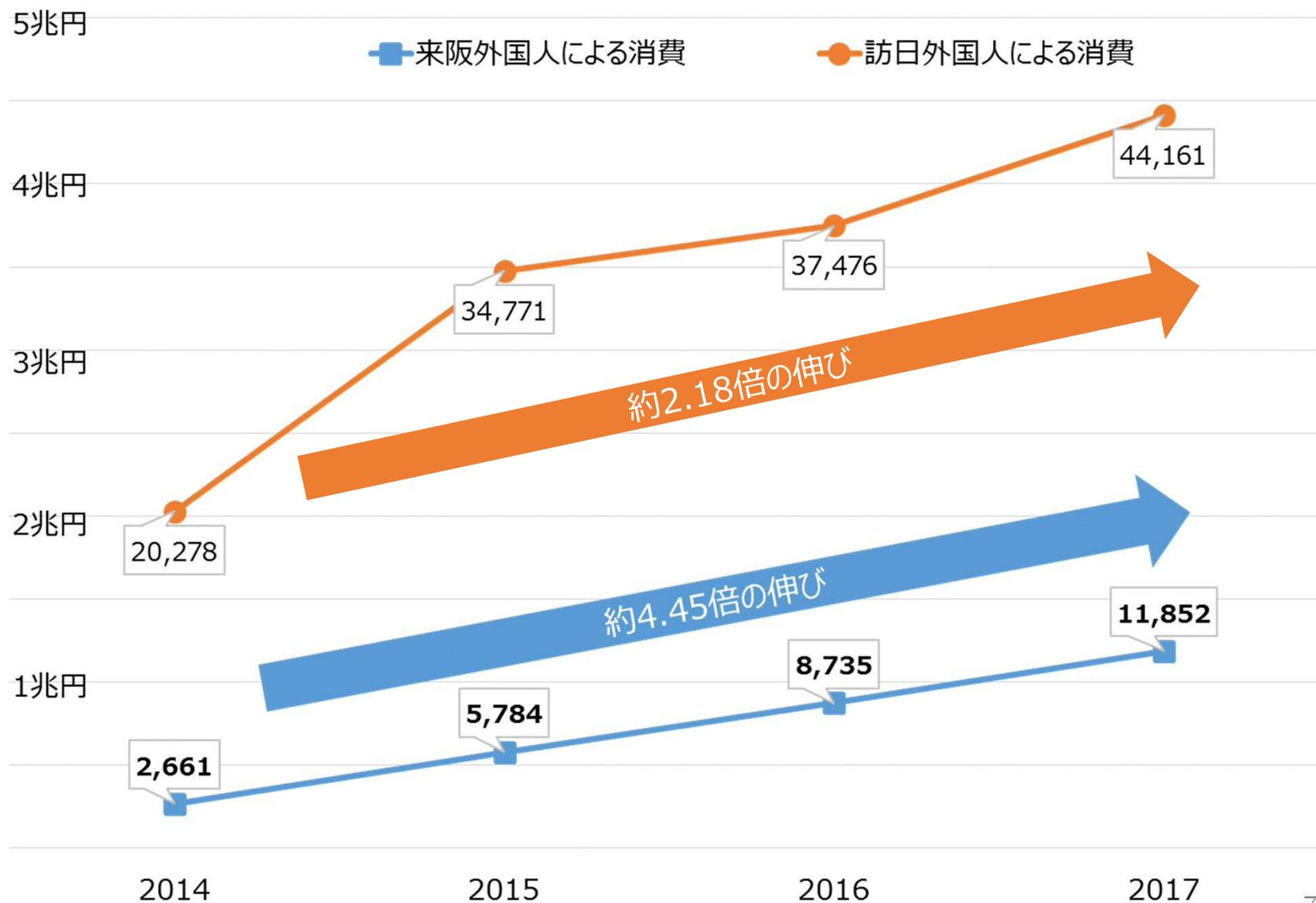


— 全国 — 東京 — 大阪

上段：人数(万人)
下段：前年比 (%)

伸び率は東京の約2倍！

■ インバウンドによる消費額



1 宿泊環境整備

- ・新規施設の誘致
- ・既存施設の増設、リニューアル
- ・特に、富裕層をにらんだ高級ホテル誘致
- ・良質（安心、安全）な民泊施設の整備
- ・新しい形態の宿泊施設の導入、検討（例、グランピング）
（合法民泊の推進）

2 観光案内所の整備

- ・観光案内所の整備促進
- ・各観光案内所の連携
- ・公共と民間と役割分担

3 表示の整備

- ・ターミナルその他観光関係施設におけるサインの充実、改善
- ・外国人観光客にもわかりやすいサイン（多言語表示）

4 Wi-Fi

- ・（主要拠点における整備）←→ 目標整備個所数、重点整備エリア等
- ・通信品質の向上
- ・関連サービスの充実
- ・関西広域連合による自治体無料Wi-Fiとの連携

5 安心、安全の確保

- ・災害時対応
- ・急患時の受入病院の確保

6 キャッシュレス、ATM

- ・海外クレジット対応施設、店舗の拡大
- ・外国人観光客利用可能なATMの整備

7 バス環境、タクシーサービスの充実

- ・バスの乗降場、駐車場整備
- ・海外発行のクレジットカード利用可能なATMの整備

8 食の受入環境の整備

- ・ハラール対応
- ・ベジタブル対応
- ・アレルギー対応

9 観光関連人材の確保

- ・良質な観光ガイド、通訳士の確保
- ・観光産業を担う人材の育成
（人手不足の解消、観光業界の魅力アップ）

10 財源の確保

11 手ぶら観光の推進

12 トイレの確保、ゴミ・騒音対策

13 治安対策



グランピング



観光案内所



ムスリムフレンドリーマップ

関西のポテンシャル



■ 豊富な観光資源や世界遺産・文化財の集積



○大阪府域や関西一円に豊富な観光資源や世界遺産が集積

○広域観光周遊ルートの推進や新たな連携構築により関西全域の観光振興に



関西には、「法隆寺地域の仏教建造物」「姫路城」「古都京都の文化財」「古都奈良の文化財」「紀伊山地の霊場と参詣道」の5つの世界遺産や世界遺産登録をめざす「百舌鳥・古市古墳群」が存在

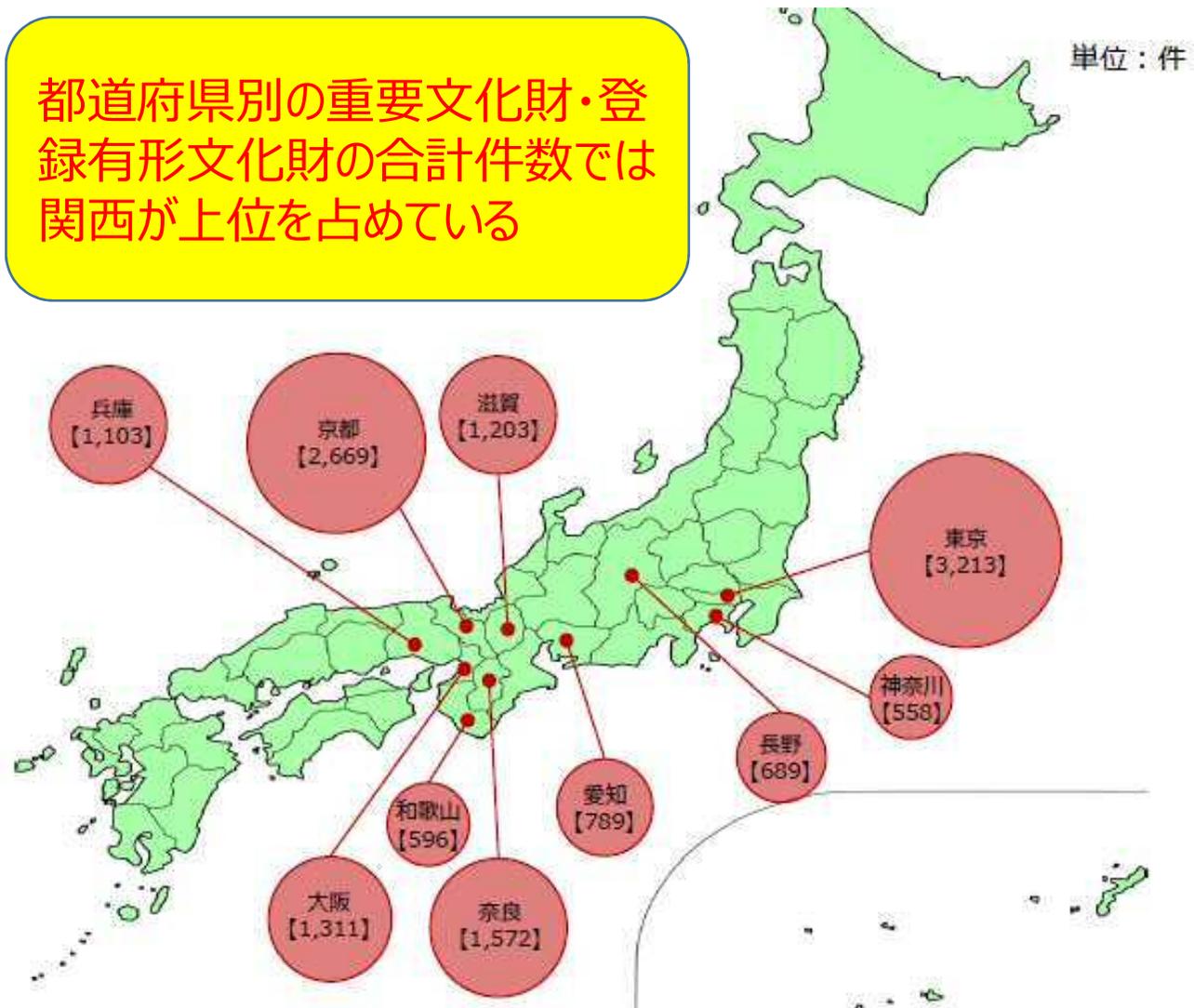
関西のポテンシャル



■ 重要文化財・登録有形文化財の都道府県別分布について

順位	2017年3月1日現在の数	
	都道府県	件数
1	東京都	3,123
2	京都府	2,669
3	奈良県	1,572
4	大阪府	1,311
5	滋賀県	1,203
6	兵庫県	1,103
7	愛知県	789
8	長野県	689
9	和歌山県	596
10	神奈川県	558

都道府県別の重要文化財・登録有形文化財の合計件数では
関西が上位を占めている



関西のポテンシャル



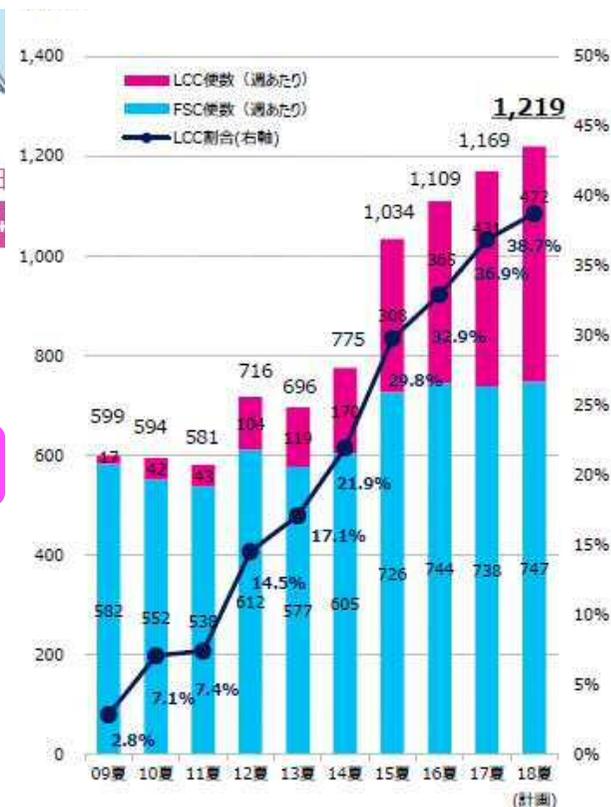
■ 関西国際空港の国際旅客便ネットワークの拡大

夏・冬通して、開港以来過去最多の**1,366便/週**
(2018年夏期スケジュール)

 84都市



国際線旅客便におけるLCC便数推移 (桃色)



国際旅客便については、中長距離路線においてエールフランス航空 (AF) のパリ線が3年ぶりに週7便のデイリー運航となり、ヨーロッパ方面全体では4都市すべてがデイリー運航に回復。また、日本航空 (JL) のホノルル線が、4月27日より週7便から週14便に増便となり、ホノルル線全体では週36便 (2017夏期比: +11便) と大幅増。

国際線LCC就航状況

 24都市

 472便/週

関西のポテンシャル

■ 瀬戸内との連携により相乗効果を誘発



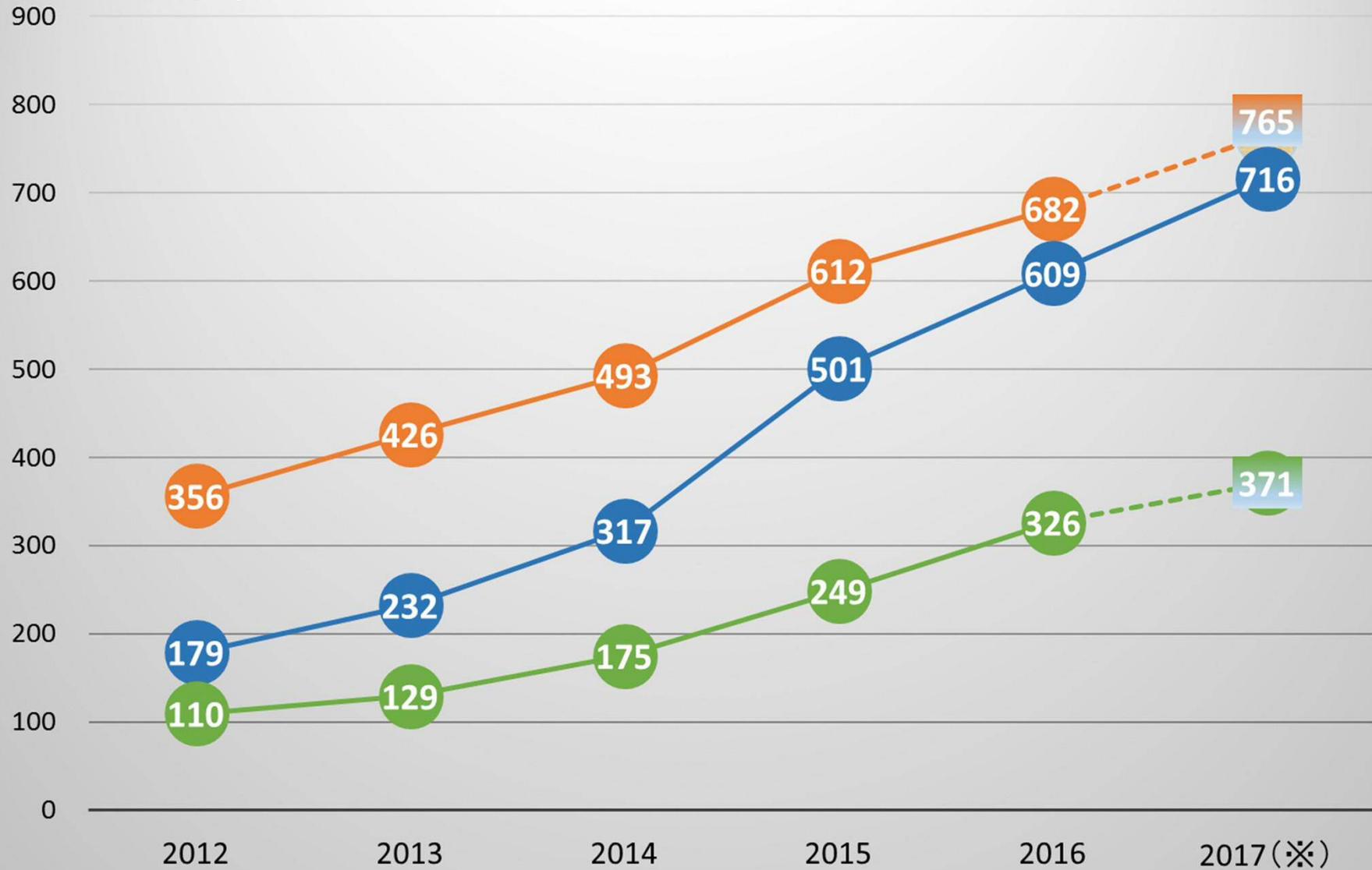
瀬戸内は、日本有数の自然景観を有し、瀬戸内クルーズや瀬戸内国際芸術祭など世界から人を集める潜在能力が高いエリア

関西のポテンシャル



3空港 外国人入国者数

(単位：万人)

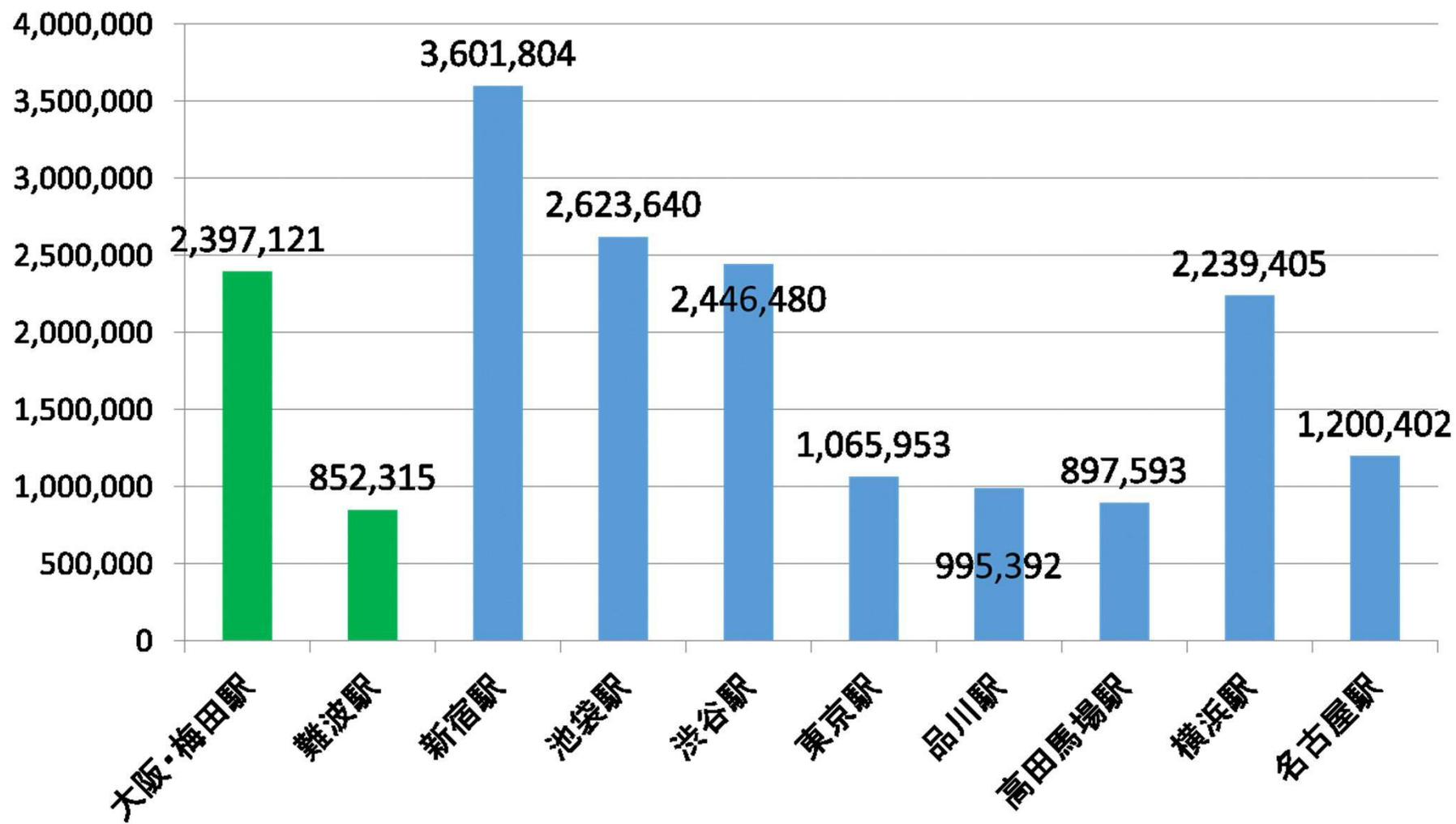


●成田 ●関空 ●羽田

2017年の成田羽田の数値は9月(又は8月)までの各空港発表数値を月平均して年に均したものの

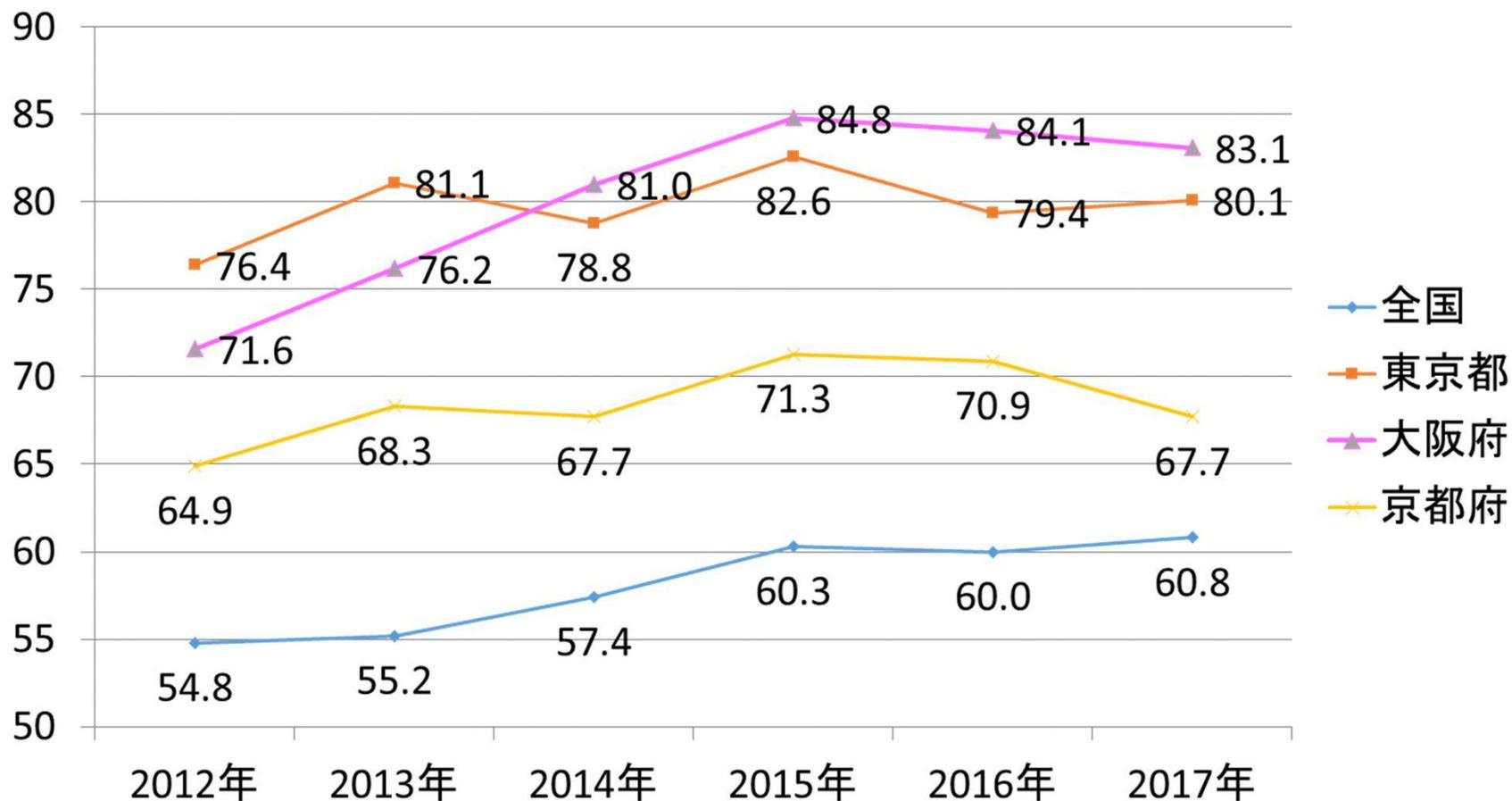
関西のポテンシャル

■主要駅一日乗降者数(2015年度)



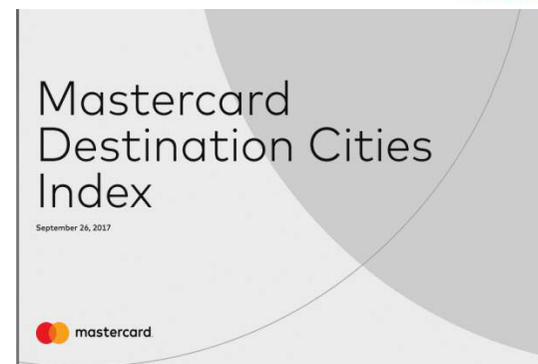
■ 宿泊施設客室稼働率

大阪の宿泊施設客室稼働率は4年連続全国一！



➤ マスターカード「世界渡航先ランキング」における急成長渡航先として大阪が2年連続1位

クレジットカードの米マスターカードが9月末に発表した「2017年世界渡航先ランキング」における渡航者数の成長率を比較する「急成長渡航先ランキング」で大阪が1位に輝いた。大阪は2016年も1位にランキングされている。



➤ エコノミスト誌による「2017医療・健康環境の安全性」で世界1位

英経済誌エコノミストによる世界都市ランキングで、救急サービスや医療機関、ソーシャルケアをはじめとするヘルスケア・サービスの拡充といった医療・健康環境面で、大阪が1位に選ばれた。世界の都市安全性指数ランキングでも、大阪は東京、シンガポールに次いで世界3位に選ばれている。



➤ N Y タイムズ「今年行くべき世界の都市2017」に大阪がランクイン



世界的権威の新聞ニューヨーク・タイムズ紙米「Lonely Planet」と並ぶ英語圏で人気のRough Guidesが、2017年に必ず訪れたいトップ10都市を発表し、8番目に大阪が選ばれた。大阪の魅力として、大阪の人々の温かさや交流好きなどところなども記載。

➤ 英国の旅行ガイドブック「Rough Guides」に訪れたい都市トップ10に大阪がランクイン

